



平成 28 年 7 月 1 日

海 上 保 安 庁

平成 28 年安全功労者内閣総理大臣表彰について

海上安全指導員の清水 幸和（しみず ゆきかず）氏が、その活動の功績により、「国民安全の日」にかかる安全功労者内閣総理大臣表彰を受賞しました。

清水氏は、昭和 49 年から現在に至るまでの 41 年間、海上安全活動を行うボランティアである「海上安全指導員」として、延べ 430 回（平成 28 年 3 月末現在）の安全パトロール等を行うなど精力的に活動を行い、昭和 63 年からは「主任海上安全指導員」として海難防止活動を積極的に推進し、豊富な経験と指導力をもって小型船舶の海難防止思想の普及及び海上安全指導員の育成に多大な貢献をされました。

安全功労者内閣総理大臣表彰における海上安全指導員の受賞については、平成 11 年から連続しており、清水氏で 18 人目となります。

表彰式概要

- 受賞者 清水 幸和（しみず ゆきかず）
- 日 時 7 月 5 日（火）10 時 30 分～10 時 40 分（予定）
- 場 所 総理大臣官邸大ホール

◆ 清水 幸和氏について

住 所 愛知県碧南市
年 齢 71 歳
職 業 自営業

◆ 国民安全の日（7月1日）について

「国民安全の日」は、国民の一人一人がその生活のあらゆる面において、施設や行動の安全について反省を加え、その安全確保に留意し、これを習慣化する気運を高め、産業災害、交通事故、火災等国民の日常生活の安全をおびやかす災害の発生の防止を図るために創設されたものです。

毎年、地域での安全思想の普及・啓発などの活動に顕著な功績のあった個人又は団体に対し、内閣総理大臣から安全功労者表彰が授与されています。

◆ 海上安全指導員について

管区海上保安本部長の指定を受け、小型船舶の海難防止とルール及びマナーの向上を図るために地域と密着した安全活動を行うボランティアで、平成 27 年末現在、全国で 1,596 人が活動しています。

また、海上安全指導員が安全パトロールに使用する船舶は、「安全パトロール艇」として、平成 27 年末現在、全国で 1,140 隻が活動しています。

海上安全指導員が行う活動には、海上での安全パトロール活動やマリーナ等での安全指導のほか、海難防止講習会での講師などがあり、小型船舶の海難防止対策の一翼として重要な役割を担っています。

平成 27 年には、全国の海上安全指導員により、30,335 隻のプレジャーボート（49,512 人のマリンレジャー愛好者）に対して安全指導が行われています。